

お祭り

NO. 482

平成10年10月10日



▲ 数々の出演を果たしてきた野口芸能保存会（左：壁塗りおけさ、右：剣の舞。 8/23野口諏訪まつりから）



▲ 「高倉太鼓」を引き継ぎ、伝承活動に励む中仙田百円会のメンバー

守れ！ 郷土芸能



〒948-0192 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL 0257-68-3111 FAX 0257-68-3828
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社（毎月10日発行）

人口の動き	
—10月1日現在—	
男	4,186 (+2)
女	4,252 (-5)
計	8,438 (-3)
世帯数	2,257 (-2)
() は前月比較	

家 計 簿

増築された「なかまの家」

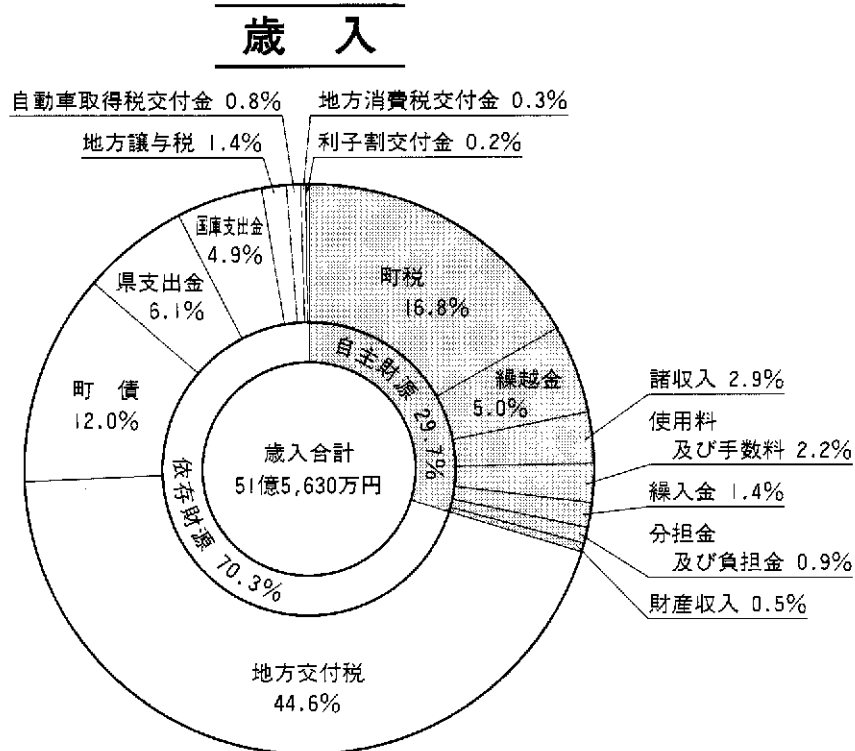


平成九年度の決算が、九月二十一日の議会定例会で認定されました。この決算は、平成九年四月一日から十年三月三十一日までの収支をまとめたものです。一般会計の概要をお知らせします。

歳入は、五十一億五千六百三十万円、歳出は四十九億六千五百六十五万円、八年度決算に比べて歳入では一二・四パーセント、歳出では一一・八パーセント減少しました。

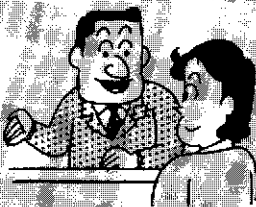
歳入には、町税、分担金、負担金、使用料、手数料など、町が自らの手で徴収することのできる「自主財源」と、国県支出金、地方交付税、地方譲与税、地方債のよう、国や県から定められた額を交付されたり、割り当てられたりする「依存財源」によって構成されています。

町における九年度決算は、七〇・三パーセントと依存財源の割合が高い歳入構造が依然として続い

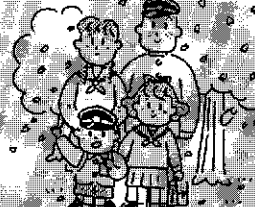


総額49億6,565万円はこのように使われました

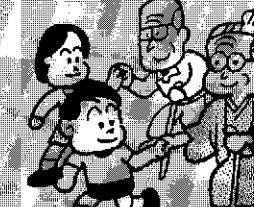
総務費 12.6%
6億2,456万円



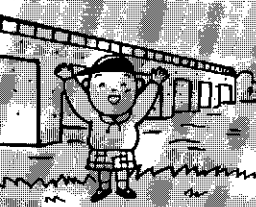
教育費 13.5%
6億7,151万円



民生費 15.0%
7億4,292万円



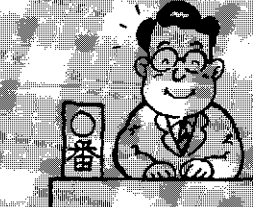
土木費 15.3%
7億6,064万円



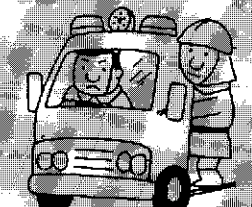
災害復旧費 0.6%
2,844万円



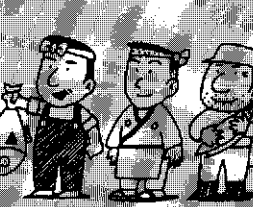
議会費 1.6%
7,899万円



消防費 4.2%
2億677万円



商工費 7.5%
3億7,038万円



特別会計決算

国民健康保険	歳入	5億3,795万4千円
	歳出	4億8,298万8千円
国民健康保険診療所	歳入	2億6,505万6千円
	歳出	2億6,131万7千円
老人保健	歳入	9億 760万6千円
	歳出	8億7,291万8千円
簡易水道事業	歳入	1,537万5千円
	歳出	1,510万1千円
農村集落排水事業	歳入	7億9,391万2千円
	歳出	7億8,831万6千円
下水道事業	歳入	5億5,021万2千円
	歳出	5億4,621万6千円

平成9年度決算

お知らせします 町の

ているものの、自主財源率三〇パーセントにいま一步のところまで近づいてきました。

また、歳出においては、「快適な暮らしの中に、安らぎと感動のあるまちづくり」という基本方向ののっとり、六つの柱に沿って事務・事業が進められました。

夢を育む人づくり

- ・不登校・いじめ対策の拡充
- ・総合体育館大規模改修

健康で安心して暮らせる地域づくり

- ・在宅介護手当支給事業
 - ・精神障害者医療費助成
- 働く喜びにあふれる産業づくり

- ・生産組織、担い手支援事業
- ・仙田地区活性化総合開発事業

快適で美しい環境づくり

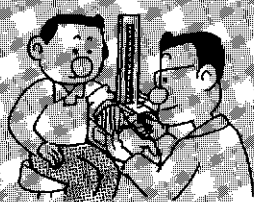
- ・農業集落排水事業
- ・千手地区特定環境保全公共下水道事業
- ・道路改良舗装
- ・都市計画土地地区画整理事業の推進

楽しさ広がるふるさとづくり

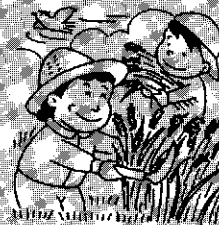
- ・総合緑地公園連絡道整備事業
- ・賑わい空間創出事業
- ・開かれた自主的行政の推進
- ・文書管理改善、書庫棟の建設などは、町が九年度に取り組んだ新規や特筆する事項といえます。

目的別歳出の内訳

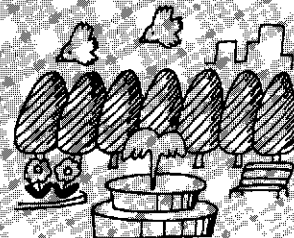
衛生費 7.5%
3億7,461万円



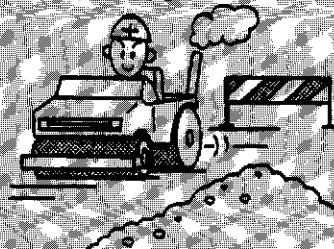
農林水産業費 10.3%
5億1,121万円



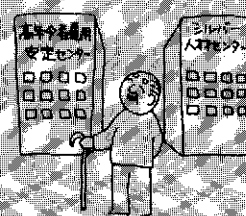
公債費 11.5%
5億7,209万円



諸支出金 0.1%
700万円



労働費 0.3%
1,653万円



住民検診は、健康状況を確認する大事な手段です
(9.6.11 上野コミセン)

台風七号で被害続出

中型で並みの強さの台風七号は、九月二十二日午後一時ごろ紀伊半島に上陸。近畿、北陸地方を通過し、夜間、東北地方を北上しました。町での最大風速は二十二日、午後八時三十五分、秒速三十三メートル（川西タム）を記録しました。

この台風による被害について、二十三日午前調査した結果、次のとおり判明しました。



暴風で屋根が飛ばされた住宅（木落）

【建物被害】

建物の被害は、ほとんどが屋根材が捲れたり屋根が飛ばされたりした損傷でした。また、倒木による被害も数多く見られました。

建物被害の状況

区分	住宅	倉庫	工場・作業場	その他	計	備考
千手	7戸	4戸	2戸	3戸	16戸	屋根損壊
上野	1戸	1戸	3戸	1戸	4戸	屋根損壊
橘	6戸	1戸	1戸	2戸	8戸	屋根損壊
仙田	6戸	1戸	1戸	1戸	8戸	屋根損壊
合計	19戸	5戸	5戸	7戸	36戸	

【道路遮断】

町道 九か所

議会報告

九月十日から始まった第六回川西町議会定例会の全日程が二十五日に終了しました。

十日は、四人による町政に対する一般質問があったあと、九月十七日をもって任期満了となる町選挙管理委員と同補充員の選挙が実施され、選挙管理委員には次の方が当選されました。任期は三年。

高橋洋一さん（上町・62歳）

南雲隆三さん（三領・65歳）

和久井守さん（木落・72歳）

小林義幸さん（中仙田・65歳）

また、九月十五日任期満了となる町教育委員高橋義平さん（三領・63歳）を再任することに同意しました。

二十一日には、平成九年度川西町一般会計歳入歳出決算ほか六つの特別会計歳入歳出決算と水道事業会計決算が認定されました。

二十五日には、平成十年度川西町一般会計補正予算（第三号）及び川西町国民健康保険特別会計補正予算（第二号）ほか三つの特別会計補正予算が原案どおり可決されました。

れました。

次に、三件の工事請負契約が原案どおり可決されました。契約の目的、金額、相手方は次のとおりです。

●特定公共賃貸住宅北原団地A棟建築（本体）工事
八千四百六十二万円

●丸山・ワタナベ特定共同企業体同B棟（本体）工事
八千四百七十三万五千円

●井川・清水特定共同企業体多目的屋内体育施設建設（本体）工事
一億七千八百五十万円

●柳高橋工務店
続いて、中山間地域総合整備事業で実施予定の「仮称仙田郷農村公園」造成に必要な土地の取得について原案どおり可決されました。

さらに、「介護保険に係わる緊急な基盤整備と国の財政措置及び制度の抜本的改善を求める意見書」ほか四件の意見書を提出することに決定しました。

全会一致で認定された一般会計決算採決のようす



全会一致で認定された一般会計決算採決のようす



立木が倒れて住宅を直撃（神社町）

【停電】

二十二日、午後七時ごろから吹き始めた風は、八時ごろには暴風となりました。八時半ごろから各地区で断続的に停電し、千手地区では伊友を除く県道東側約五百世帯と木落・川辺集落約百五十世帯が長時間の停電となりました。中央町、神社町、学校町などでは二十三日午前〇時三十五分ごろまで、沖立では二十三日午前一時ごろまで停電しました。停電による影響は大きく、一般世帯のほか上下水道、事業所などにも支障をきたしました。

電力会社は調査と復旧に専念しており、連絡がつかず、また、停電の広報がほとんどなかったことから、住民の間に不安と苛立ちがありました。

【上水道】

水源、浄水場とも八時半ごろ停電となり、取水・浄水ができなくなりしました。二十三日午前二時四十五分ごろ水源の一部が復帰、取水・浄水を開始しました。配水池の水位も徐々に上昇しました。二十三日午前十時三十分ごろ水源のすべてが復帰、浄水能力も元に戻り、断・減水までの影響はありませんでした。

なお、室島簡易水道と白倉簡易水道は、一時的に停電したものの、ほとんど影響はありませんでした。

【下水道】

公共下水道のマンホールポンプが停電のため停止しました。このため上新井、沖立、高原田地区の五か所のマンホールポンプで水位の上昇があり、管理委託会社のバキューム車が出動、マンホール内の汚水を汲み取りました。ポンプは二十三日午前二時ごろ復帰しました。

また、木落・川辺地区の集落下水道でも停電のためマンホールポンプ内の水位が上昇しました。二十三日午前二時半ごろ通電復帰しました。

【農業被害】

パイプハウス二棟、タバコ乾燥施設六棟のほか、農協低温倉庫・



屋根を飛ばされ壁がはがされた土蔵（沖立）

【その他】

農機具格納庫・堆肥舎の屋根損傷、乾燥中のタバコに被害が出ました。

各地区で庭木、利用樹、果樹、公園内の樹木など多数が倒れました。住宅地にあるものは建物に倒れ、建物損傷の被害も見受けられました。居住区での倒木は、確認したもののが約三十本ありました。その他山林、農地における被害は確認していないものの、相当あるものと思われる。

また、山崩れ、道路の決壊、河川の氾濫などによる被害は見られませんでした。



庭木が倒され町道を遮断（寺尾）

国土利用法の

届出制度が変わりました

土地取り引きについての届出制度が、九月一日から変わりました。

●大規模な土地取り引きの場合、契約の締結前に届出が必要でしたが、今後は、規制区内、監視区域及び監視区域が指定されていない地域においては、契約の締結後に届出をしてください。

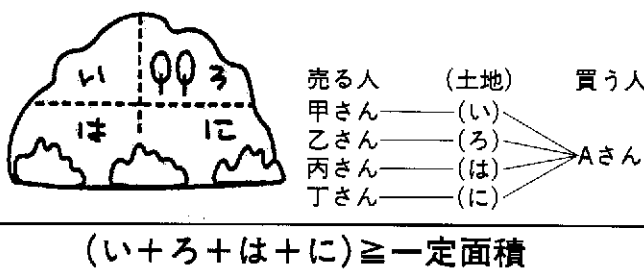
（注視区域とは、地価が一年間に相当な程度を超えて上昇し、又は上昇する恐れがあり、これによって適正かつ合理的な土地の確保に支障を生ずると認められる区域。）

●届出者は、事前届出では取り引きの当事者（売買の場合、売主と

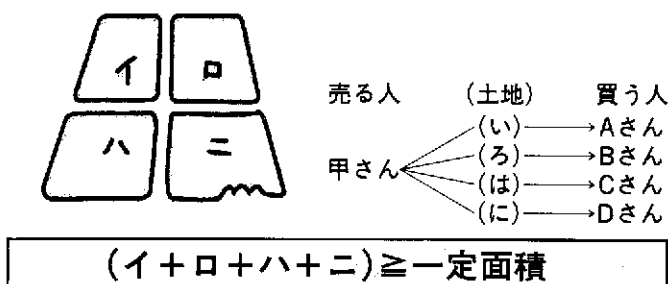
買主）でしたが、事後届出制における届出者は土地の取得者（買主）のみです。

●個々の面積は小さくても、合計すると一定面積以上となるような一団の土地の取り引きについては、従来は、一団の土地を分割して売る場合、買う場合とも届出が必要でしたが、事後届出制においては、分割された一団の土地の一部を取得する場合（造成された分譲宅地の一区画を取得する場合など）には届出が不要です。一段の土地を分割して買う場合には、これまでも同様に届出が必要です。

届出が必要



届出が不要



災害時の相互協定を締結

9月28日、役場町長室で、町内で発生した地震その他災害時に、町と町内郵便局が相互に協力する協定が締結されました。協力要請する主な内容は、①災害救助法適用時における郵便、為替貯金、簡易保険の郵政事業にかかわる災害特別事務取り扱い及び援護対策並びに避難所への郵便差出箱の設置に関すること②郵便局が所有し又は管理する施設、用地の避難場所や物資集積場所などとしての使用に関すること③被災町民の避難先及び被災状況の情報の相互提供に関することなどです。

協定書を交換する南雲町長(右)と庭野千手郵便局長



千手まつり 神輿の競演

9月5～6日と千手まつりが実施されました。今年のまつりでは、毎年実施していた奉納相撲に代わって、商工会千手支部(小林正夫支部長)が企画した神輿競演会がお目見え。九地区から出場した神輿連が、相撲場特設会場で自慢の神輿回しを披露しました。

優勝したのは大人と子供みこし二台で練り歩いた高原田地区で、大人神輿には女性が乗って氣勢を上げていました。九地区の神輿連は、それぞれに特徴があり、周りから盛んな声援が上がっていました。



今年初企画となった神輿競演会で優勝した高原田地区

家庭教育講座を実施

9月20日、総合センターで、長岡教育センター指導主事の田村晃さんを招いて、家庭教育における父親・母親の役割をテーマに、家庭教育講座が開かれました。

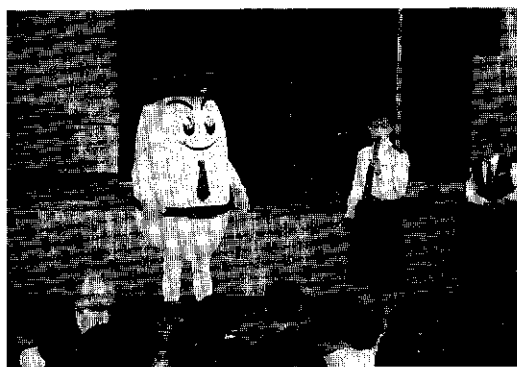
田村さんは、今の子供たちは豊かさの中で、時間・仲間、祖父母・兄弟姉妹、自然などといった大切な指導者を失ってしまっている。また、家庭教育・子育てに処方箋や特効薬はない。当たり前のことをやっていく中から、「家族のみんなが楽しく過ごせる明るい家庭づくり」を見つけていくように述べていました。



田村さんの話に耳を傾ける参加者

「ゆきつばき号」が来町

9月24日、上野小学校と千手小学校を県警の交通安全指導車「ゆきつばき号」が訪れ、町内小学校1年～3年の児童と保育園児を対象に、腹話術や手品などをして、交通安全の指導をしました。指導に当たった婦警さんがいろいろな出し物の中で特に口をすっぱくして話をしていたのは「飛び出し」についてでした。不幸な事故や事態を招かないためにも、十分注意していきたいものです。



婦警さんの話に、終始耳を傾けていました



齊藤所長(左)から目録を手渡される南雲町長

街路灯を寄贈

十月一日、東北電力(株)十日町営業所(齊藤浩所長)から、町のために役立ててほしいということで、街路灯九灯の寄贈がありました。町では、申請のあった九町内に設置しました。



藤巻さんが、四十九年余の長期にわたり大型バスの無事故運転を継続するとともに、若者ドライバーの育成に貢献したことが認められたものです。

この度、関東管区交通安全功勞表彰式があり、当町の藤巻浩三さん(発電所通り西・74歳)が優良運転者として管区警察局長賞を受賞されました。

関東管区警察局長賞受賞

町営住宅の建築に着手しました

県立川西高校西側に、来年4月から入居できる町営住宅18戸（2LDK6戸、3LDK12戸）の建築を始めました。

この住宅への入居申し込み方法などは、来月号本紙でお知らせいたします。入居を希望する方々で、入居条件など詳細の内容については「建設課都市計画係（☎68-3111 内線322）までお尋ねください。



クワ入れをする南雲町長（左）と建築業者の代表（9/3）

川西町都市計画
マスタープラン

まちづくりニュース ④

8月号でお知らせしていましたが地域情報の聞き取り（まちづくりを考える会）を、8月19日、20日に開催しました。今回は、そこで発言のありました意見の抜粋を掲載します。これらのご意見などは、今後の地域別構想をまとめるときに住民の声として生かさせていただきます。

Q1. 貴方の地域で守っていききたいもの・残したいものは何ですか？（保全要素）			
千手地域	上野地域	橘地域	仙田地域
●鳥追いなどの伝統行事 ●のどかな田園風景 ●静かな住環境 ●他都市に住む川西町出身者とのつきあい など	●いつもあいさつができる人間関係 ●山の緑と田園地帯 ●伝統行事 など	●集落内の明るい交流や助け合い ●自然のままの河川 ●広い境内のある神社 ●郷土料理 など	●おいしい米のとれる農地 ●小学校、保育園 ●酒田囃子や高倉太鼓などの伝統芸能の継承 など
Q2. あなたの地域でいらないもの・変えたいものは何ですか？（改善要素）			
千手地域	上野地域	橘地域	仙田地域
●リーダーシップのとれる人材の不足 ●明確なビジョンがないこと ●消極的な姿勢 ●現状のママが良い など	●消雪パイプの水が道路にたまること ●狭い県道 ●リーダーシップをとる人へのバックアップ体制がないこと など	●冠婚葬祭時の古いしきたり ●農業における農薬の使用 ●主要地方道小千谷十日町津南線の取り付け部分 など	●閉鎖的で利己的な考え方 ●10集落の考え方の格差 ●伝統芸能の後継者不足 など
Q3. あなたの地域で足りないもの・欲しいものは何ですか？（整備要素）			
千手地域	上野地域	橘地域	仙田地域
●水と親しめる施設 ●にぎやかなイベント広場のある商店街 ●人材育成 ●喫茶店など、住民が集えるところ など	●安心して歩ける歩道 ●遊園地や公園 ●若手が地元で自信や誇りを持てる企業の誘致 など	●信濃川沿いに憩いの空間（公園、花畑など） ●交通事故防止のための歩道 ●老若男女の交流の促進 など	●都市交流（グリーンツーリズム） ●温泉保養施設 ●仙田の核となる施設 ●将来を担う若者や子供 など
Q4. 将来、どんな地域に住みたいですか？（地域の将来像）			
千手地域	上野地域	橘地域	仙田地域
●特徴のあるまちづくり ●若者が住みたくなるまち ●公共施設と緑地が充実しているまち など	●若い人がUターンしたり、都会の人がIターンできるまち など	●雪が生活の支障にならないまち ●安心して住めるまち ●他都市に流出した若者が帰ってくるまち など	●都市交流を中心とした特色ある山間地域 ●豊かな農業のあるまち ●子供たちが自然の中で楽しく育つまち など

お問い合わせやご意見は… 建設課 都市計画係 ☎68-3111(内線322)

心身障害者の方は、

こんな福祉サービスが受けられます

障害者福祉サービスは、障害者手帳、療育手帳の取得を基本としており、町でも該当者の早期把握と制度の周知に努めています。障害者の人たちは、いろいろの福祉サービスが受けられます。ご利用ください。

【手帳の交付】
○身体障害者手帳
目、耳、手足や内臓などに身体障害者福祉法に定められている程度の障害（一～六級）を持つ方に対して交付されます。

○療育手帳
精神薄弱者更生相談所で精神薄弱（重度ⅡA、中軽度ⅡB）と判断された方に対して交付されます。

【医療費の助成】
○更生医療
身体障害者の障害の除去又は軽減に必要な医療費を給付します。対象となる主な医療は、人工透析、人工関節置換術、ペースメーカー埋込術など。

○重度心身障害者医療費助成制度（県障）
身体障害者手帳一～三級、療育手帳A所持者に対して医療費及び食事療養費（標準負担額減

額認定証所持者に限る）を助成します。

【福祉用具の給付】

○補装具の交付（修理）
身体障害者に対し、障害の内容及び程度に応じて義肢、装具、補聴器や車椅子などの補装具が交付されます。

○日常生活用具の給付

在宅の重度心身障害者に対し、その障害の内容及び程度に応じて浴槽便器、特殊寝台やワープロなどの日常生活用具が給付されます。

【手当など】

○障害者基礎年金

国民年金加入期間に病気、けが、精神障害（精神薄弱を含む）により、一定の障害状態となった方に支給します。二十歳前に一定の障害状態となった方は、国民年金の加入にかかわらず二十歳から支給されます。

○特別障害者手当

二十歳以上で精神又は身体に著しい重度の障害があり、日常生活において常時介護を必要とする方に支給します。

○特別障害児手当

二十歳未満で精神又は身体に著しい重度の障害があり、日常生活において常時介護を必要とする方に支給します。

著しい重度の障害があり、日常生活において常時介護を必要とする児童に支給します。

○心身障害者扶養者共済制度

六十五歳未満の保護者が加入者となり、加入者が死亡及び重度の障害になったとき、障害者本人に終身年金が支給されます。対象は、身体障害者手帳一～三級所持者及び精神薄弱者。

○在宅重度重複障害者介護見舞金

療育手帳A所持者で、二級以上の障害が二つある方を常時介護している保護者に支給します。

【税金の軽減】

○所得税、住民税の所得控除

身体障害者手帳一～二級、療育手帳A所持者は特別障害者控除、身体障害者手帳三～六級、療育手帳B所持者は、障害者控除が受けられます。

○所得税窓口＝税務署

○住民税窓口＝税務署

○自動車税、軽自動車税、自動車取得税の減免

障害者本人又は生計を一にする者が所有し、本人が運転する場合のほか、生計を一にする者が専ら本人のため（通学、通院など）に利用する場合に減免さ

第2回 十日町市・川西町小学校 親善陸上大会結果

〔男子〕

5年 100メートル

①鈴木龍也（川治）②高橋宣弘（東）③高橋明彦（千手）

6年 同

①小林将志（東）②田中一機（西）③小川浩幸（西）

5年 1500メートル

②南雲 華（千手）⑦永井裕貴（橋）⑧中村 旭（千手）

6年 同

①丸山 真（橋）②庭山和貴（東）⑤藤巻 繁（橋）

9月17日、十日町市笹山陸上競技場で、第2回十日町市・川西町小学校親善陸上大会が開催されました。
※1位～10位までの上位3位を紹介いたします。ただし、10位までに町内小学校の入賞者がいた場合、それを含め上位3位とします。



声援を背に受けて頑張る町児童（左：5年男子1,500m、右：6年女子100m。700番台は全ての町児童たちです）

れます。(障害種別、等級制限あり)

(自動車税・自動車取得税窓口
税務署)

(軽自動車税窓口税務課)

○千手温泉の入湯税免除

身体障害者手帳一級三級及び療育手帳A所持者は、「千手温泉入湯税免除申請書」の交付を受けることにより、入湯税が免除されます。

(入湯税窓口税務課)

〔旅客運賃の割引〕

○JR

第一種心身障害者は、本人が百キロメートルを超えて利用する場合のほか、介護者とともに利用する場合に普通乗車券が五割引になります。第二種心身障害者は、本人が百キロメートルを超えて利用する場合のみ五割引になります。

(窓口JR駅)

○バス

身体障害者手帳及び療育手帳所持者は普通乗車券が五割引、定期券が三割引になります。

(窓口バス会社)

○有料道路

身体障害者本人が運転する場合のほか、重度心身障害者については、その介護者が運転する場合において料金が五割引になります。(福祉課社会福祉係で割引証を交付)

○福祉タクシーの利用料助成制度

身体障害者手帳一級三級(三級は下肢、体幹障害のみ)及び療育手帳Aに対して、小型(福祉)タクシー基本料金(走車料金を含む)が割引となる利用券を年間十二枚交付します。また、身体障害者手帳及び療育手帳所持者には、料金が割引になる利用券を交付します。

(その他の制度)

○NHK放送受信料の免除

身体障害者のいる低所得世帯及び重度精神薄弱者のいる町民税非課税世帯は、受信料が無料になります。また、世帯主が視覚・聴覚障害及び肢体不自由一級二級である世帯は、受信料が半額になります。

○自動車運転免許取得費の補助

身体障害者手帳一級四級所持者が、自動車運転免許を取得した場合、費用の三分の二(限度額十万円)が補助されます。

○障害者住宅整備資金利子補給制度

心身障害者又は、その世帯者が住宅の増・改築のために借り入れた利子分のうち、障害者のための増・改築にかかる利子分を補給します。

ます。

○生活福祉資金の貸し付け

心身障害者の生業及び住宅の増・改築などに対して、低利子で資金の貸し付けをします。

(窓口社会福祉協議会)

○駐車禁止除外指定車証書の交付

視覚障害一級四級、下肢不自由一級四級、体幹不自由一級三級、内臓機能障害一級三級の方が運転又は同乗して使用する場合や、精神薄弱者が同乗して使用する場合に交付されます。

(身体障害者は社会福祉協議会、精神薄弱者は警察が窓口)

※お問い合わせはそれぞれ窓口又は、役場福祉課社会福祉係(☎68-3111・内線205)へ



補装具給付事業で電動車の提供を受けた田中さん。毎日はりきって仕事をしています

5年 走り幅跳び

①高橋宣弘(東) ④高橋明彦(千手) ⑥丸山秀基(上野)

6年 同

④羽鳥康仁(橋) ⑥和久井喬(橋) ⑧高橋佳広(千手)

5年 走り高跳び

①小島正嗣(東下組) ②小川将吾(東) ⑤保坂 慎(橋)

6年 同

④羽鳥雄祐(橋) ⑥樋口俊亮(千手) ⑧金子大輔(上野)、山家 真(橋)

5年 80メートルハードル

①富井亮太(馬場) ②金子良太(十日町) ③星名大地(千手)

6年 同

①田口雄太(中条) ②小川浩幸(西) ⑥藤巻直樹(橋)

5年 400メートルリレー

①川治小③千手小(高橋明彦、南雲啓太、星名大地、中村 旭)

⑥橋小(中村広伸、永井裕貴、村越人樹、保坂 慎)

6年 同

①西小④橋小(丸山 真、羽鳥康仁、和久井喬、藤巻 繁) ⑤千手小(太田敏行、樋口俊亮、星名隼人、高橋佳広)

〔女子〕

5年 100メートル

①江村美樹(西) ②スミス・アテナ(十日町) ③樋熊理衣(東) 6年 同

①田川絵梨(東) ②春日 恵

(西) ③馬場綾子(十日町) 5年 800メートル

①江村美樹(西) ②山本久美子(東) ⑤平野実穂子(千手)

6年 同

①尾身三奈(真田) ②上村留美(鏡島) ③宮井愛子(上野)

5年 走り幅跳び

①真霜かおり(西) ②山本奈央(橋) ⑩小川絢香(上野)

6年 同

①春日 恵(西) ⑧渡辺明子(橋) ⑩桐生さゆり(上野)

5年 走り高跳び

①丸山芽衣子(上野) ②山田由布子(東) ③水落紗智子(下条)

6年 同

①富井有沙(馬場) ④丸山亜由美(橋)、柄澤菜美江(千手)

5年 80メートルハードル

①樋熊理衣(東) ②真霜奈津美(川治) ③岡田瑛理子(中条)

6年 同

①田川絵梨(東) ②外山静香(川治) ③上村恵梨奈(川治)

5年 400メートルリレー

①東小②西小⑥千手小(星名斉美、齋藤陽子、登坂泰子、松崎さおり)

6年 同

①西小②東小③十日町小

「敬老の日」

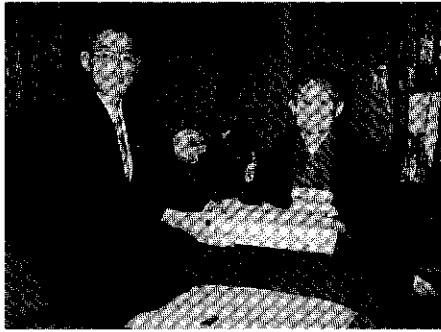
39人に祝い品を贈る

老人週間（9月15日～30日）にちなんで、県と町から八十八歳（米寿）三十九人の方に敬老祝い品が贈られることになり、十五日、町長、助役、収入役が各世帯を訪問して直接祝い品をお渡ししました。お祝いを受けた方をご紹介します。



南雲町長からお祝い品を受けた小野塚清さんとご家族

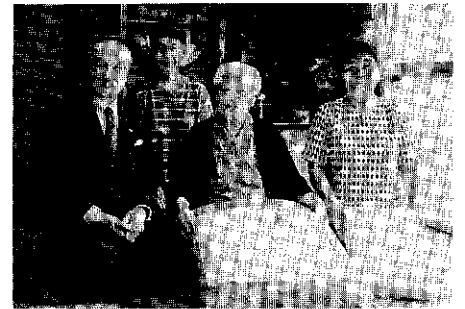
相崎セツ（中島町）、田中スミ（発電所通り東）、小野塚清（上町）、清水寛治（中央町）、太田キイ（田中町）、市川富二（中屋敷）、市川トイ（中屋敷）数藤信善（沖立）、星名リセ（伊友）、星名栄古（伊友）、星名カズ（伊友）、星名仁作（伊友）、高橋ヤス（坪山）、山岸セツ（霜条）、渡辺音治（上野）、根津富士松（上野）、田村クマ



大平助役からお祝い品を受ける木村久美さん

（上野）、田村力蔵（上野）、星名ハツ（元町）、渡貫キヨ（新町新田）、丸山ナカ（新町新田）、渡貫正徳（新町新田）、水品トヤ（新町新田）、山家ミイ（木落）、田口誉治郎（木落）、和久井精一（木落）、藤巻ヨシエ（塩辛）、藤巻和夫（塩辛）、木村久美（仁田）、藤原カウ（仁田）、江口スエ（野口）、丸山幸作（原田）、須藤ミノ（下原）、南雲リト（中仙田）、高橋シン（室島）、高橋政市（室島）、滋野ナカ（室島）、斉木リサ（小脇）、江口ムメノ（小白倉）

総務庁が九月十四、十五日現在の日本の高齢者人口（推計値）を発表しました。それによると、六十五歳以上の高齢者人口は二千四百十九万人（男性八百五十一万人・女性千九百九十八万人）で、総人口の一六・二パーセントを占め、過去最高となりました。



南雲町長からお祝い品を受けた茂野ナカさんとご家族



水品収入役からお祝い品を受ける水品トヤさん

一方、県内の六十五歳以上の高齢者人口は五十万二千人に達し、県人口に占める割合は二〇・一パーセント（前年比〇・六ポイント増）、当町においては二六・八パーセント（対前年比一・二ポイント増）となっています。

（敬称略）

川西町長寿者番付

平成10年9月15日現在

東						西				
氏名	住所	世帯主	生年月日	年令		氏名	住所	世帯主	生年月日	年令
平野キイ	上町	菊枝	M29.10.24	101	横綱	北村クメ	山野田	日出太	M30.4.10	101
村山シマ	新町新田	若山昭治	M33.5.12	98	大関	市川トウ	田中町	信二	M33.8.13	98
高橋トシ	木島	庄作	M34.3.29	97	関脇	数藤寅治	沖立	寅夫	M34.4.3	97
高橋惣治	室島	寅治	M34.6.5	97	小结	宮トミ	山野田	啓一	M34.12.18	96
南雲ヤス	田中町	善二	M35.7.7	96	前頭	田村チヤウ	鶴吉	一策	M35.7.23	96
押木竹尾	あかね園	本人	M35.11.28	95	2	田口キヨ	木落	直正	M36.1.7	95
丸山宗太郎	下原	本人	M36.2.26	95	3	富井カト	上野	宏行	M36.3.1	95
春日フク	伊友	好和	M36.5.25	95	4	小海クヨ	小根岸	益男	M36.10.23	94
石田コト	小脇	太郎松	M36.10.27	94	5	山田ヨシ	あかね園	本人	M36.12.10	94
星名ハル	学校町	美信	M37.1.27	94	6	高橋ヒサ	中仙田	恒平	M37.3.4	94
中村昌平	岩瀬	蓉子	M37.9.10	94	7	宮本貞子	発電所通り東	昌幸	M37.10.1	93
星名トモ	伊友	正男	M37.11.4	93	8	柄澤莊八	沖立	数藤実	M37.12.7	93
根津英作	上野	本人	M37.12.21	93	9	渡辺シゲ	上野	孝平	M38.1.19	93
小野塚キイ	中央町	一	M38.1.28	93	10	田口トミ	木落	寛一	M38.1.30	93

大倉の天狗様

岩瀬 金子 幸作

仙田の社寺を歴訪

渡辺秀、星名八重子、高橋ヒサ、
上村スミ子（敬称略・順不同）。

妻有郷にただひとつ

町公民館（保坂国夫館長）で開設する歴史講座は毎年好評で、町の歩みや先人たちの生活を知りたいと願う方々が三十名ほど、上村政基町文化財調査審議会委員を主任講師に意欲的な調査、学習活動が続けている。ことしは生涯学習課（松澤真代課長）の蔵品順子社会教育指導員が「マナビイ講座ふるさと探訪」を企画してくださり、

「川西町の歴史や自然を探訪して理解を深める」ことを目的に、町内の社寺やいしぶみを見てまわり、当時の世相やその背後に生きた人びとの動きを学んでいる。

仙田地区は私が案内することになり、山口隆也氏運転のバスを観光道路に出迎えたのは蒸風呂のよう暑い十七夜の午後であった。

この日は伊勢平治観音様の例祭でお詣りや来客などから参加者も少ないのではないかと心配したが、生涯学習を地で行く次の方がたが元氣なお顔をみせてくださった。

富井初枝、小林欣造、小海昭一、平野未之助、清水順策、茂野宗平、村山勇太郎、根津広作、山口功、川崎トシ、渡辺チヨウ、平野竹子、

観光道路から雁ヶ峰、黒姫、八石、米山の霊峰を望み、眼下の山なみを追って仙田郷十五集落の歴史をお話ししてから、「紅葉曳き」で知られる小白倉十二社を参拝し

洪海トンネルを抜けて、右側の森に在します大倉の天狗社をお詣りした。境内三十坪の鬱蒼とした聖地は、ムラ人たちの信仰を集めた天狗の藤、庚申の藤、それに出羽

三山のみごとな藤が樺の古木と絡み合い、樹勢なお盛んで、天狗が住むにふさわしい妖気を漂わせていた。そのおり、いくつかの質問をいただいたのでこの欄でお答えすることにした。

川西町に天狗社が存在するのは大倉だけ、「中魚沼郡誌」を見てもほかの町村には見当たらない。だから、大倉の天狗社は旧岩沢、

真人村と旧上小国、松代村の一部も含めた昔の中魚沼郡、十日町市の全域でただひとつの天狗社ということになる。大きな谷と険しい崖に囲まれた大倉は、南北朝時代（一二三六〜九三）の終わりに力

尽きた武士が隠住して開いたと伝えられているが天狗社の創立や起因、徴証、伝来は詳らかでない。

天狗様と村人たち

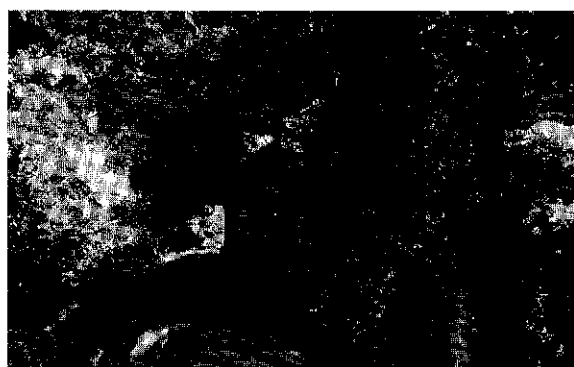
五十年前前に、中條文平仙田村書記（明治二十八年生・故人）から次の話を聞いた記憶がある。

大倉天狗社の祭神は猿田彦命で例祭は六月十四日だ。この神様は天孫降臨のさい瓊瓊杵尊の先頭に立って天狗のように活躍したとい

い、道祖神や庚申様にもつながって、ムラの衆を怪我過ちのないように守護してくれる。仙田の谷に悪疫が流行すると団扇を扇いで病魔を退散させ、ムラに悪者が入りこむとでつかい「ハクシオン」をして追い払ってくれる。

おだての効く天狗様で、みんなが大事にすると十二様と一緒に農作業を手助けするが、仕事を怠けたり、粗相があつたりすると肝焼いて大風を吹かせてオドシたりする。そのため、ムラの衆は天狗様が腹を立てないように気を使い、みんなで一所懸命に稼いできた。

大倉天狗社と天狗の森



掠つて下の沢（大倉沢川）へブチャル（捨てる）ゾ」とおどされて育ち、大天狗大明神に守られて峰や谷合いの田畑を耕して生きた。

いつの時代であつたか、天狗の森に山伏や行者や祈禱師が多勢住み、湯（鉱泉）も使つて修行を積んだという。その修験者の中に小白倉大和屋の人が居り、のちに江戸へ出て成功し、大勢の弟子をかかえて繁盛したと聞いている。

天狗は想像上の怪物

広辞苑（新村出編）は天狗を次のようにとらえている。

深山に棲息するという想像上の怪物。人のかたちをし、顔赤く、鼻高く、翼があつて神通力をもち

飛行自在で羽団扇をもつという。

民俗学辞典（柳田国男監修）は天狗を次のように説明している。

名称そのものは仏教からきたらしい。異常な怪力、強烈な感情、極端に清浄を愛し、俗衆の近づくを憎み、隠遁自在で常人の意表に出るなどが、その性格の大きな特色で、日本固有の山野の神の一種に対してこの名が用いられ、後世妖怪の一つになったというべきであらう。それは鬼の場合のように文学、芸能、絵画などによっていちじるしく粉飾されている。

鼻の高いこと、修験山伏のような服装、羽団扇などは近い昔の変化に過ぎない。現に山形県最上郡などでも、天狗は白髪の爺だと考えているだけで特別に鼻が高いとは言っていない。天狗の属性は時代とともに変遷して来たわけである。天狗はグヒン、山の神、大人、山人とも呼ばれ、山男と同じだとも考えられており、山だけに住んだ実在の特殊な人間を、里の人が誤認した経緯も天狗譚には含まれているかと思われる。山中で大木を伐り倒す怪音（天狗倒し）、天狗笑い、天狗ツブテなどの幻覚の例は今も各地に信じられている。天狗が子供をさらい、神隠しにする話は中世以前の驚き、その後の鬼につづいて近世甚だ広く語られるようになった。

7日の催し

会場 川西中学校

◆夢キャラバン公演

午後6時～8時

会場 総合体育館

◆町民文化祭

◆川西町美術展

◆ビデオ上映

◆かわにしいとこ写真コンテス
ト

11/7(土)～8(日) かわにしい自満祭

去年のキャラバン
公演から

地球環境セミナー

◆とき 10月20日(火)

午後6時30分～9時

◆ところ クロス10

◆参加費 500円

(中学生・高校生無料)

◆問い合わせ 十日町商工会議所

(☎57-5111)

8日の催し

午前9時～午後8時

会場 川西中学校

◆大なわとび大会

午前9時～11時

◆琴伝流大正琴発表会

◆民謡とおどりの祭典(芸能大会)

正午～4時30分

◆ミニ四駆大会

午前10時～正午

◆屋台村開店

◆錦鯉品評会

午前9時～午後4時30分

会場 総合センター

◆ユーユーコンサート

午後2時～4時

会場 総合体育館

◆町民文化祭

◆川西町美術展

◆ビデオ上映

◆かわにしいとこ写真コンテス
ト

午前9時～午後4時

障害者集団選考会

◆日時 10月28日(水)

午後1時30分～4時

◆場所 クロス10

◆問い合わせ ハローワーク十日町

(☎57-2407)



森林体験教室に 参加しませんか

町では、町の木「ブナ」の植林
作業を次の日程で実施します。ま
た、これに合わせて森林・林業に
ついての勉強会も開催することに
なっています。この機会に、皆さ
んも参加してみませんか。

◆日時 10月31日(土)

午前10時～午後2時

◆場所 中屋敷地内(角万寺スキ
ー場北側付近)・二六公園

◆内容 ブナの植林作業、森林・
林業などの勉強会

◆問い合わせ・申し込み
農林課振興係

(☎68-3111内線331)



去年実施された森林体験教室

収益金の還元を受ける 平成10年度宝くじ助成備品

中仙田百円会では、地域コミュニ
ティ活動の一層の活発化と地域
全体の振興を図るため、助自治総
合センターから宝くじの収益金二
五〇万円の助成を受け、次のよう
な備品を整備しました。

太鼓、パソコン、デジタルカメ
ラ、テント

特に太鼓は、高倉集落で伝承が
困難となった「高倉太鼓」を復活
させようというもので、その活動
がすでに始まっています。



整備された太鼓と百円会有志のみなさん

消防広場を開設

楽しみながら防災に関心を持つ
ていただくために、次により消防
広場を開きます。

◆日時

10月18日(日)

午前10時～午後3時

◆場所

東頸城郡松代町 松代町役場駐
車場(雨天の場合、同役場車庫)

◆内容

・ミニ消防車運転コーナー
・はしご車試乗コーナー
・ちびっこ救助隊コーナー
◎そのほか、わたあめ・風船・紙
芝居など、いろんなコーナーが
たくさんあります。



地域の様々な行事に利用されているテント

善意

福祉に
(敬称略)

春日 好和(伊 友) 六万円
清水 元三(中屋敷) 五万円

職員募集

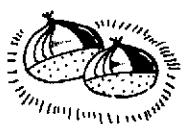
「あかね園」に勤務する平成11年4月1日採用予定の職員を、次のとおり募集します。

【職種及び受験資格】

- ・看護婦(正職員) 1人 看護婦又は准看護婦の資格を有する者
- ・介護員兼栄養士(臨時) 1人 栄養士の資格を有する者
- ・介護員(臨時職員) 若干人 ※いずれの職種とも、45歳までで、通勤可能な者

【提出書類】

- ・履歴書(市販のものに自筆記入)
 - ・卒業証書の写し
 - ・免許等資格証明書の写し
 - ・直近の健康診断結果の写し
- 【試験の日時と場所など】
日時 11月14日(土)午前9時から
会場 あかね園
- 内容 作文・面接
【申し込み手続き】
・受付期間 11月15日まで
(郵送の場合、当日消印有効)
・申し込み・問い合わせ
〒948-0136 川西町大字高原田278-1 特別養護老人ホーム「あかね園」(☎68-4565)



かわにし 俳壇

高崎正風選

倒伏の稲田に案山子立っており
台風の過ぎし朝や菜を間引く
岩瀬 登坂伊智子
倒伏の稲に追打ちかけて雨
新米と妻の言いたる朝餉かな
山野田 藤田ひろ志
台風の大木倒し通り過ぐ
孫と行く通草見つけし散歩道
野口 村越 由喜
たましいのなきさびしさの菊人形
厄のなき魚沼米や豊の秋
練馬区 須藤 遊人
夏草の中より聞こゆ川の音
トンボ飛ぶ川に小さな丸木橋
志木市 山田十久二
鳳仙花犬の吠えればつぎに
学園の温泉を出てよりの茗荷汁
霜条 星名 星光
早稲の香や整備済みたるコンバイン
柿日和梯子の足の定まれる
新町新田 若山 向山
彼岸会の香煙流れ曼珠沙華
同窓会とて秋晴れのふるさとに
八王子市 松浦 サク

大屋根に実を横たへし糸瓜かな
苔寺の立木観音腫澄む
寺尾 白井すみい
ひろびろと刈田のはてに秋行ける
寝返りて椎の雨聞く夜長かな
元町 田畑 吉治
鳥を追う役目果たして案山子去る
大倉 中条 石平
露草のまぶしき花をかがみ見る
小白倉 江口みゆき
犬呼べば背にも腹にも草じらみ
水口沢 高橋 願似
継ぐつがぬなどは子まかせ稲実る
足立区 涌井ハル子
虫の音や今日を感謝し湯に浸る
綾瀬市 野沢ますえ
いろは坂ねまで数えし紅葉かな
野口 五十嵐トラ
敬老日便りよりまず煎茶着く
田中町 石沢 澄代
大根時く水たつぷりとやりにけり
四郎兼 平野 恵春
茸狩り去年の場所を辿りつつ
高倉 斎木 和人
我が里にはせをの句碑や花木僅
霜条 大海 白涛
辛うじて日々生きて居り暑に耐えて
飛行雲西にひと筋彼岸入り
浦和市 登坂 博史

休日救急医

10月10日	大坪医院 (四日町)	☎57-6100
11日	庭野医院 (寿町)	☎52-2711
18日	田中外科医院 (田中町)	☎52-2403
25日	池田医院 (本町西)	☎52-2581
11月1日	田中外科医院 (田中町)	☎52-2403
"	津南病院 (津南町)	☎65-3161
3日	至誠堂医院 (西浦町)	☎52-3276
8日	山口医院 (袋町)	☎52-2174

生活習慣病の予防

血圧が高い、貧血している、血糖値が高いなど、生活習慣病を招く要因の多くは、食生活にあります。毎日三食規則正しく栄養のバランスを考えた食事を取るのが理想です。

1 いろいろ食べて生活習慣病予防
主食・主菜・副菜をそろえ、目標は一日三十食品、いろいろ食べても食べ過ぎないように。

2 日常生活は食事と運動のバランスで
食事はいつも腹八分目、積極的に運動をして、それに見合ったエネルギーを摂取して食事を楽しむ。

3 減塩で高血圧と胃がん予防
塩分は一日十グラム以下、酢、レモン、香辛料を使って味に変化を。

4 脂肪を減らして心臓病予防
脂肪、特に動物性脂肪の取り過ぎに注意、肉料理より魚料理を献立に。

5 生野菜、緑黄色野菜でがん予防
生野菜、果実類に多量に含まれているビタミンC、緑黄色野菜に多く含まれているカロチンは、発ガン抑制作用があることが分かっています。

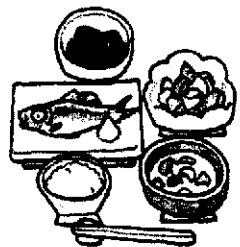
6 食物繊維で便秘、大腸がんを予防
穀類、野菜、海藻など植物性食品を取って積極的に食物繊維を取る。

7 カルシウムを十分取って丈夫な骨づくり
高齢者が骨折すると、寝たきりになるケースが増えます。骨粗鬆症を予防するには、牛乳、骨ごと食べられる小魚、海藻などを十分に。

8 甘いものはほどほどに
砂糖は、嗜好の面からつい取り過ぎに、果物も糖分が多いので食べ過ぎに気をつけて。

9 禁煙、節酒で健康長寿
禁煙は百益あっても一害なし、百薬の長といわれるアルコールも、多く飲み続けると肝炎、肝硬変、肝臓がんなどの危険性が高まる。

検診は、食習慣をもういちど見直す絶好のチャンスです。自分の食生活のどこに問題があり、どのように改善すればいいのか、検診を機会にぜひ自己チェックしてみてください。



戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

小林 浩大 義明 学校町
斎喜 明菜 正人 室島
山田 諒多 弘史 仁田
永井 老磨 政浩 木落

佐久間 綺音 貴之 発電所
高津 拓弥 正則 塩辛
通東

昇天—ごめい福を祈る

清水 武夫 64 (武夫) 寺尾
丸山 ハナ 80 (正男) 上野
春日 喜平 86 (喜平) 神社町
山岸 セツ 88 (善一) 霜条
川崎 長蔵 89 (作重) 室島
(9月1日/30日届け出分)

表紙の写真

野口芸能保存会(村越正会長)は、昭和四十四年十一月に設立。四十八年のNHK「ふるさとの歌まつり」出演を皮切りに、「県農協芸能まつり(五十年)」、「県南部観光協会郷土芸能まつり(五十八年)」など、数々の交流会や町内発表会に出演してきました。剣の舞や壁塗りおけさは、皆さんもよくご存じのところ。しか



新しく購入された太鼓に「高倉太鼓」を入魂しました

し、当初三十二人もいた会員が、現在では十数人となり、継承する若者の加入が望めず、存続ができないという状況から、残念ながら九月三日をもって活動休会とすることが決定しました。

一方、中仙田百円会(小林時夫会長)は、昭和四十年代半ばに、集落の有志によって結成された地域づくり団体で、集落内の子供たちと高齢者世帯全員にプレゼントをする「サンタ、トナカイ夢宅配事業」、小正月の鳥追い行事の伝承活動、その他各種活動にも積極的に参加をしています。最近、高倉集落で伝承されてきた「高倉太鼓」が過疎化と高齢化のため存続が危ぶまれ、百円会では、「仙田地域に残る優れた伝統文化を絶やさないうために」とこれを引き継ぎ、地元の経験者から指導を受けながら伝承活動を始めています。

ちいさな展覧会

122

橘小学校



▶「ゴミはゴミ箱へ」
6年生 保坂ゆかりさん



▶「仲間とうもろこしを食べている私」
3年生 村越千恵子さん



▶「合体船」
2年生 高橋 歩くん



▶「楽しいすいぞくかん」
1年生 野沢みずきさん



▲「鳥のすばこ」
4年生 田口清貴くん



▲「夜みるブラネタリウム」
5年生 星野友美さん



▶「アキカンはゴミ箱に」
6年生 藤巻 繁くん

(11月号は仙田小学校です)